

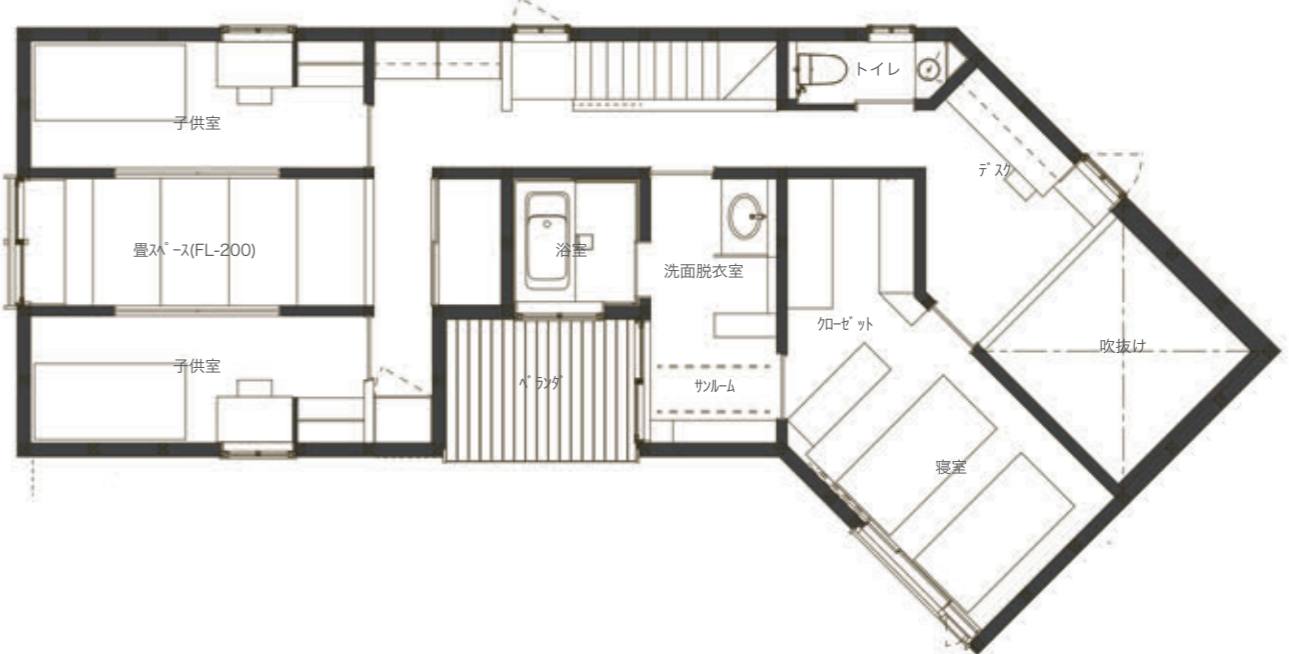
風景と暮らし、風景と一つとなるために、杉に包まれる住まいをつくる。



①杉材を用いた木部と漆喰を塗った壁・天井のインテリアで内部空間を構成する。杉の風合いと漆喰の相性がいいことと自然素材に包まれた空間で心地よく暮らす住まいをつくる。 ②建築と外部、周辺をつなぐ円形テラスとまちに寄与する植栽空間。池畔の風景に暮らすために、内部に引き込むための装置と、建築が風景の一部になるための役割として外部空間をつくっている。



③木質のインテリアとウールカーペット柔らかいインテリアで外部とつながる。 ④天井に杉を張った寝室。 ⑤周辺に点在する切妻屋根の農小屋に呼応するように、2つの軸をもつ切妻屋根の佇まい。杉の外装で周辺の風景に溶け込む佇まいとしている。 ⑥風景を切り取る窓と和室。壁、天井を外部と同じ杉材とすることで、内部と外部が曖昧になる空間をつくる。杉材を使い分けることで空間のつながりを意図させている。



2階平面図 1:100



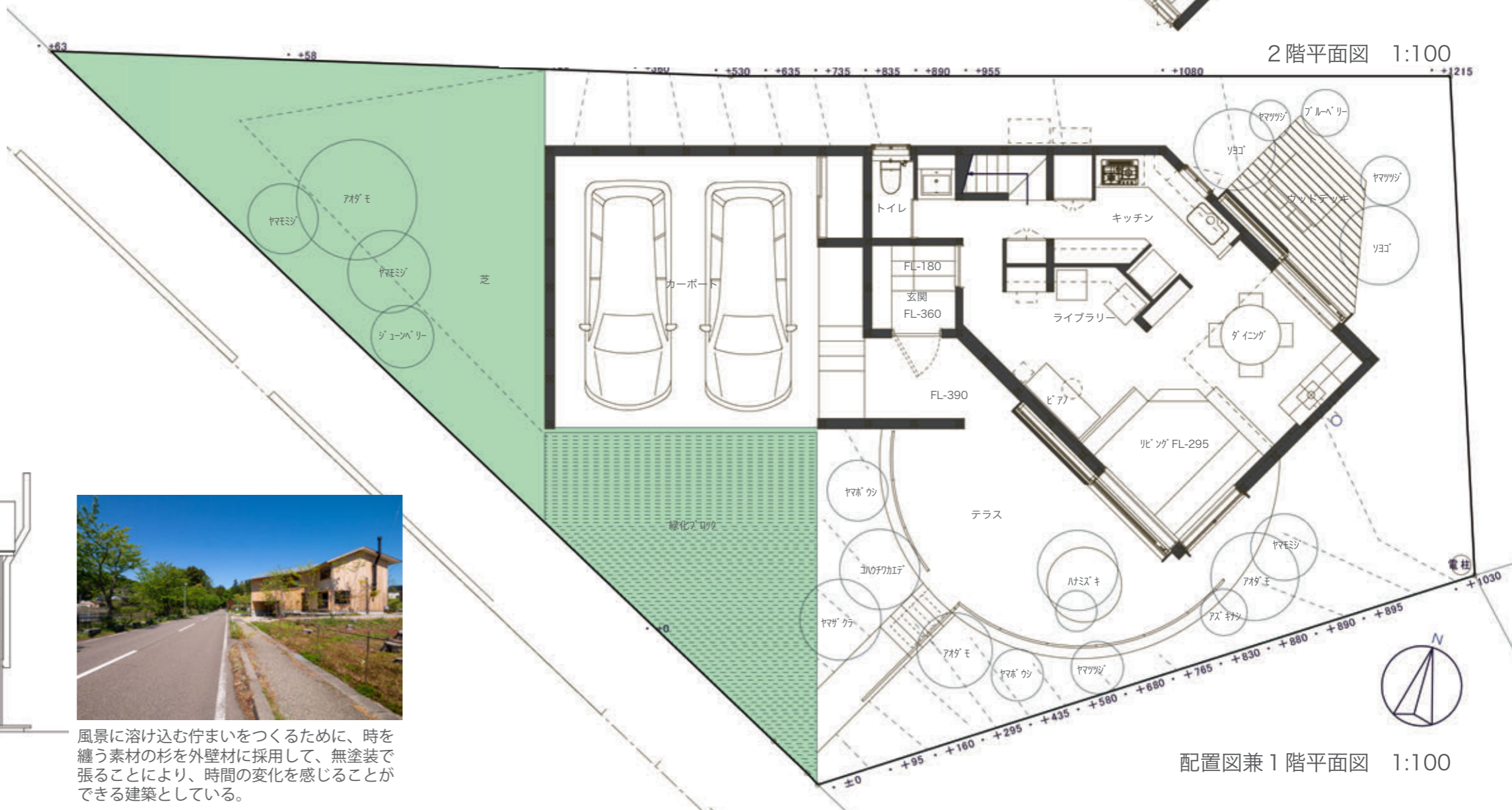
西側立面図 1:150



南側立面図 1:150



風景に溶け込む佇まいをつくるために、時を纏う素材の杉を外壁材に採用して、無塗装で張ることにより、時間の変化を感じることができる建築としている。



配置図兼1階平面図 1:100